

枅富町長 みなさん、おはようございます。本日、ここに、令和4年第3回定例会を招集いたしましたところ、議員の各位におかれましては、公私何かとご多用中のところ、全員のご出席を賜りまして、誠にありがとうございます。議案等の提案説明に入ります前に、6月議会以降の町政の動き、主な事務事業の進捗状況など、行政報告をさせていただきます。6月議会以降、全国的に新型コロナウイルス感染症のオミクロン株の第7波の感染が急拡大し、全国では8月に1日の感染者数が26万人を超え、徳島県でも1日の感染者数が3,182名と、過去最高を記録しました。現在は、少し落ち着いているようで、徳島アラートも感染警戒前期です。また、各種の会議、全国大会等につきましては、基本的な感染防止対策を行い開催していますが、Web会議及び書面決議での開催も行っています。牟岐町では6月の感染者数が1名、7月が20名、8月が120名、9月が昨日までに5名確認されていますので、引き続き基本的な感染防止対策の徹底等、再確認をお願いします。総務課関係では、庁舎移転を円滑に進めていくために、牟岐町新庁舎建設基本計画策定業務を指名型プロポーザル方式により業務発注しています。委託期間は、令和5年3月中旬までです。デジタル推進課関係では、国のデジタル・ガバメント実行計画で示された地方公共団体が優先的にオンライン化を推進すべき手続きのうち、特に国民の利便性向上に資する手続きとされた子育て関係、介護関係、被災者支援関係合わせて27手続きについて、マイナンバーカードを用いて国のピタリサービスを利用することにより、オンラインでの手続きが8月より可能となりました。住民福祉課関係では、7月下旬に、令和4年度住民税非課税世帯に対する臨時特別給付金について、該当世帯に申請書を送付し、9月末までには給付を終える予定です。また、今年度も新型コロナウイルス感染症の影響で、敬老のつどいは中止とさせていただきますが、9月1日現在で75歳以上となる1,160名の皆様には、今月20日より敬老祝金を支給させていただきます。健康生活課関係で、6月から8月にかけて保健事業で総合健診2回、4・5歳児健診、股関節脱臼健診、産後ママプチ健診をそれぞれ実施、健康教育相談事業では、乳幼児相談4回、歯磨き教室3回、個別発達相談2回、健診結果説明会、離乳食教室、子育て講演会、言葉の相談教室、思春期ふれあい体験事業、自殺予防講演会をそれぞれ実施。産業課関係のイベント関係では、7月31日に予定していましたが、姫神祭りは3年連続中止となりましたが、納涼花火は開催することができました。また、阿波踊り競演会も同様に3年連続で中止となりましたが、牟岐あんどん展は、8月13日、14日の2日間開催することができ、牟岐町内の阿波踊り連限定ですが、阿波踊りの町流しが実施できました。町民の皆様には夏の思い出を提供していただき、感謝をしているところです。次に、農業関係では、かいふ農協と京都産業大学の学生と

が連携し、新たに開発するブレンド米の名称やパッケージデザインについて、学生に取り組んでいただきました。米の試食会やWebでのプレゼンを行い、ブレンド米の名称を「牟岐むすび」と名付け、素敵なパッケージデザインも提案していただきました。「牟岐むすび」は、牟岐ふるさと会への販売準備を進めており、牟岐町の特産品となるよう、かいふ農協とともにPRを進めてまいりたいと考えています。また、かいふ農協で牟岐町産「実生ゆず」のフランス向け果汁の輸出に取り組んでいただいています。食品会社などから展示会や商談会でのプロモーションに活用する動画について提案あり、6月に実生ゆずの知名度アッププロモーション動画発表会を開催しました。なお、原油価格や物価高騰による消費低迷を防ぐため、実施予定のプレミアム商品券事業につきましては、10月3日から使用開始できるよう準備を進めているところです。企画政策課関係では、関係人口拡大を目指す様々な事業を実施しています。大学連携としましては、県南キャンパス事業を活用し、徳島文理大学の大学生が牟岐の事業者と連携し、牟岐産のもち麦を使ったお惣菜などのメニュー開発を行っており、産業祭での発表に向けた試作品づくりに取り組んでいます。京都産業大学の木原ゼミの大学生が京都西陣地区のマルシェへ継続的に出店していき、実生ゆず関連の商品を中心に販売し、牟岐町のPR活動を行っていただいています。徳島大学建築サークルAUTの大学生がシラタマ学級の小学生を対象に、流木を使ったキャンドルや端材貯金箱等の物づくり体験を行っていています。また、8月30日に徳島大学建築サークルAUTの大学生より、牟岐保育園の子ども達に木製玩具2点を寄贈していただいています。次に、働き方改革の取り組みの中で、徳島県が推進しているワーケーションの一環として、AWAあきんどと連携し、車ゼロの島と無人島のある徳島県の南国牟岐町の自然が隣にある暮らしを体験しようと題した親子ワーケーションを実施しています。関東圏を中心とした各地から親子連れで来町され、大島でのアクティビティーや出羽島散策、モラスコむぎでのリモートワークなど、牟岐町でのワーケーションを楽しまれたようです。建設課関係では、国の工事で、牟岐バイパス大谷第1トンネル工事の掘削が始まっています。山田高架橋上部工事、寒葉地区改良工事は工事中。清水外改良工事も発注しています。県工事では、牟岐港牟岐停車場線舗装並びに区画線工事、天神前地区の急傾斜対策工事を発注しています。町の事業では、地籍調査事業（東川又・西川又・奥前地区）を発注しています。灘地区の補修工事は、8月31日に完了。藤ノ木1号線・堀川線の補修工事並びに道路メンテナンス事業、一の久保橋修繕工事は工事中です。空き家対策総合支援事業は、除却が7件完了しています。ブロック塀除却は、2件完了しています。教育委員会関係では、コロナウイルス感染拡大の中、7月から8月にかけて実施可能と判断した水泳教室・BG塾・婦人

学級等を実施、しらたま活動等についてはZOOMを活用、是非対面実施をしたい部分は冬休みへ延期している状況です。また、コロナ感染防止対策工事として、海の総合文化センター洋式トイレ整備事業を発注し、令和5年1月末の完成を見込んでいます。なお、町民運動会は中止、文化祭はできる範囲(作品等の展示のみ)で実施しようと考えています。今後も、事業等の進捗状況等ご報告させていただきますので、皆様のご指導、ご助言をよろしくお願い申し上げます。それでは、本定例会の提案説明に入りたいと思います。本定例町議会に提出の案件は、報告2件、議案18件です。議案の内訳は決算認定6件、条例改正4件、補正予算4件、人事案件4件です。報告第4号令和3年度決算における健全化判断比率及び資金不足比率。令和3年度決算について監査委員の審査を受けましたので、健全化判断比率及び資金不足比率について、議会へ報告するものです。牟岐町の令和3年度決算の数値では、実質公債費比率8.6%、将来負担比率18.1%となっており、他の数値は該当ありません。実質公債費比率は令和2年度から0.2%の減少、将来負担比率は18.8%減少しています。報告第5号専決処分した事項の承認。専決第4号令和4年度牟岐町一般会計補正予算。別冊の補正③をご用意ください。この専決予算は、令和4年度に新たに住民税非課税世帯となった世帯に対し、コロナの支援策として臨時特別給付金を早期に支給するため、7月1日付けで専決処分をさせていただきました。歳入歳出それぞれ総額920万円を追加し、予算総額を30億6,929万3千円とする令和4年度牟岐町一般会計補正予算です。専決第5号令和4年度牟岐町一般会計補正予算。別冊の補正④をご用意ください。この専決予算は、コロナ禍における原油価格・物価高騰を受けた生活者や事業者の負担軽減を図るため新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金が交付されることとなり、早期に事業着手する必要がありましたので8月8日に専決処分させていただきました。歳入歳出それぞれ4,689万5千円を追加し、予算総額を31億1,618万8千円とする令和4年度牟岐町一般会計補正予算です。議案第29号令和3年度牟岐町簡易水道事業会計歳入歳出決算認定。簡易水道事業会計の決算では、収益的収支は、事業収益1億1,024万4,061円、事業費用及び特別損失は1億1,313万1,414円となり、288万7,353円の純損失が発生しました。資本的収支については、資本的収入6,887万3,381円に対し、資本的支出は1億269万5,677円となり、差引3,382万2,296円の不足を生じたので、これについては、消費税資本的収支調整額と過年度分損益勘定留保資金で補填しました。議案第30号令和3年度牟岐町一般会計歳入歳出決算認定。一般会計の歳入総額は38億4,780万597円、歳出総額は34億5,465万1,200円で、差引3億9,314万9,397円となっています。令和3

年度末の積立金総額は、14億6,077万5千円と令和2年度より1億7,721万4千円の増加となっています。議案第31号令和3年度牟岐町国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定。国保会計の歳入総額は7億346万8,411円、歳出総額は6億3,512万8,761円で、差引6,833万9,650円となり、2年度と比較すると繰越額が1,819万6,262円の増加となっています。議案第32号令和3年度牟岐町青少年健全育成センター特別会計歳入歳出決算認定。青少年健全育成センター特別会計の歳入総額は751万1,900円、歳出総額は630万1,967円で、差引120万9,933円となり、2年度と比較すると、繰越額が53万5,967円の増額となっています。議案第33号令和3年度牟岐町介護保険特別会計歳入歳出決算認定。介護保険特別会計の歳入総額は、8億4,635万8,348円、歳出総額は7億6,594万1,471円で、差引8,041万6,877円となり、2年度と比較すると繰越額が1,228万9,287円増加しています。議案第34号令和3年度牟岐町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定。後期高齢者医療特別会計の歳入総額は1億667万6,899円、歳出総額は1億392万7,053円で、差引274万9,846円となり、2年度と比較すると繰越額が83万4,600円増加しています。議案第35号牟岐町の議会の議員及び長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部を改正する条例。法律改正に伴い、選挙運動の公費負担の対象となるものについて公費負担額を改正するものです。議案第36号牟岐町職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例。育児を行う職員の育児休業の取得について、取得要件の緩和・取得の柔軟化を図る改正です。議案第37号特別職の職員で非常勤のもの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例。消防団員の処遇改善のため、年額報酬と出勤報酬について改正するものです。議案第38号牟岐町介護保険条例の一部を改正する条例。介護保険料の減免に係る納期限の期間の変更です。議案第39号令和4年度牟岐町一般会計補正予算。今回の補正予算の総額は、1億151万8千円となっています。歳出の主なものを挙げますと、2款・総務費の総務管理費でテレワーク導入業務委託費、徴税費で公用車購入費などを計上。3款・民生費の社会福祉費で島の家・清流荘の修繕料などを計上。4款・衛生費の保健衛生費で高齢者へのインフルエンザ予防接種手数料、オミクロン株に対応したワクチン接種委託料などを計上。5款・農林水産業費の林業費で海部森林組合事務所増築工事負担金、水産業費で、漁船上架施設整備補助金などを計上。6款・商工費で、モラスコむぎ電圧機器修理料などを計上。7款・土木費の土木管理費で八坂残土処理場整備に係る工事費、用地購入費、立木補償費、住宅費で民間建築物耐震化支援事業補助金などを計上。8款・消防費で消防団員の年額報酬・出勤報酬な

などを計上。9款・教育費の社会教育費で成人式記念品等購入費、プールろ過修繕料などを計上。歳入では、繰越金のほか、国庫支出金、県支出金、寄附金、繰入金、町債、諸収入などを特定財源として充てています。歳入歳出、1億151万8千円を追加し、予算総額を32億1,770万6千円とする令和4年度一般会計補正予算です。議案第40号令和4年度牟岐町簡易水道事業会計補正予算。今回の補正予算は、資本的支出で建設改良費7,792万円を追加し、資本的支出の予算総額を5億4,696万7千円とする補正予算です。議案第41号令和4年度牟岐町国民健康保険特別会計補正予算。今回の補正予算は、歳入歳出16万5千円を追加し、予算総額を6億6,951万7千円とするものです。歳出は、未就学児童均等割保険料システム改修手数料の計上です。歳入は特別調整交付金などを充てています。議案第42号令和4年度牟岐町介護保険特別会計補正予算。今回の補正予算は、歳入歳出3,102万9千円を追加し、予算総額を8億1,795万6千円とするものです。歳出は、国庫支出金等の返還金と地域包括支援センター運営委託料の追加です。歳入は前年度繰越金を充てています。議案第43号人権擁護委員の推薦。本年12月31日に任期満了となる委員の大田美英氏を引き続き任命するもので、任期は3年間で令和7年12月31日までとなります。議案第44号牟岐町固定資産評価審査委員会委員の選任。本年12月21日に任期満了となる委員の伊澤昇氏を引き続き任命するもので、任期は3年間で令和7年12月21日までとなります。議案第45号牟岐町固定資産評価審査委員会委員の選任。本年12月21日に任期満了となる委員の木内繁一氏を引き続き任命するもので、任期は3年間で令和7年12月21日までとなります。議案第46号牟岐町教育委員会委員の任命。本年11月9日に任期満了となる委員の中山昌之氏を引き続き任命するもので、任期は4年間で令和8年11月9日までとなります。以上で提案説明を終わりますが、詳細につきましては関係課長などから説明をさせていただきますので、よろしくご審議のほど、お願いします。